

---

# 全切り

あばら骨ハヤオ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

全切り

### 【コード】

N0864G

### 【作者名】

あばら骨八ヤオ

### 【あらすじ】

爆弾を解除することになった男のはなしです。

爆破予告の手紙が来たのは、一週間前であった。最初は誰もが悪戯だと考え、とりあわなかつた。しかし現在、俺の目の前には爆弾のようなものが広がっている。大きい。なんか壁一面が爆弾のようなものだ。なんでこんなことになってしまったのだろうか。

一時間前、工場の食堂でカレーを食っていた頃が思い出される。爆破予告のことで、話題はもちきりだった。

「俺、昔引き篋もつてて、爆弾とか作ったことあるよ。もし爆弾がこの工場に設置してあつたら、俺が解除するよ。」

息をするように嘘をついたら、なんか隣の隣の席の社長のような人が「そのときはお願いするよ。」とか言ってきた。「はい解りました」とか言つてたら本当に爆弾処理役になった。

2

それにしても、どうしたのか。

この工場は原子力発電所のようなものだから、絶対に爆発させるわけにはいかない。

この工場のようなものが爆発したら近隣一帯の人々は死んでしまうだろう。

しかも警察に言うことが出来ないようなことも俺たちはやっているのだ。

偽札のようなものを印刷しているのだ。

他の社員は既にみんな脱出した。

もし爆発して死んだらどうしよう。

最後の食事はカレーということか。

シーフードカレーということか。

大体いつ爆発するのか。

爆破予告の手紙には「爆弾のようなものを設置しました」としか書いてなくて具体的なことはまったく解らない。そして、どうやって解除すればよいのか。目の前にはこれ見よがしに様々な色のコードがある。数えてみたら23本あった。しかも全て違う色である。どれか一つを残して切れればよいのか。それとも2本残しか。あえて全て切れのパターンかもしれない。全て切れのパターンだと確実にラス2まで行けるし。その方が盛り上がるし。ということ片っ端から全て切ったら本当に爆発しませんでした！みんな助かりました。ってあの世で言いました。息をするように嘘をつきました。両側をでっかい鬼に挟まれて言いました。どや顔で言いました。閻魔様はノンリアクションでした。じゃあなんでお前死んでるの？この死人の行列は何？みたいになっつこみもありませんでした。地獄行きでした。

(後書き)

僕なりにライトノベルに挑戦してみました！  
ライバルの肩胛骨ケンジ君には好評でした！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0864g/>

---

全切り

2010年11月8日12時05分発行